

認知症に関する活動(概要)

徳島県作業療法士会では「認知症支援推進委員会」を設置し、地域社会に向けた多角的な支援活動を展開しています。当委員会では、2018年に独自開発した介護予防ツール「ラシーサカード」を活用した地域活動に注力しており、今年度も継続的な講師派遣や新たな講習依頼への対応など、活動の核として運用を進めています。さらに今年度は「ラシーサカード」の第2弾を制作中であり、10月に県内で開催される地域交流イベントにてお披露目する予定です。また、会員のスキルアップと啓発を目的とした「認知症OTカフェ」を開催し、新しい認知症観の共有や事例検討会を実施いたしました。その他にも、地域イベントへの参画、介護予防・認知症にまつわる研修会の開催、ならびに講師派遣を積極的に実施しています。

地域事業

「ラシーサカード」を活用した地域のサロン等への講師派遣事業は、今年度も順調に継続しております。県内人口第3位である鳴門市をはじめ、新たな地域からの依頼や問い合わせが多数寄せられており、活動の輪がさらに拡大しています。また、徳島県からの依頼のフレイル予防目的で「通いの場への専門職派遣モデル事業（PT・OT・ST・管理栄養士の4職種による地域通いの場への支援）」においても、認知症予防に関する支援として「ラシーサカード」を用いた健康教室に引き続き参加しました。

その他の地域活動としては、県内ショッピングモールにおける啓発活動に「認知症家族の会」とともに参加したほか、民生委員や地域支援者など約300名を対象とした認知症予防にまつわる研修会で講義も実施しました。さらに、例年参加している鳴門市での交流イベントにも出展します。このように、当委員会では、年間を通じて地域の多様な事業に積極的に参画しております。



地域での「ラシーサカード」を用いた健康教室の様子



地域での講義

「ラシーサカード」第二弾を製作

当士会で独自開発した介護予防ツール「ラシーサカード」の第2弾を新たに制作しました。従来の第1弾では「体操カード」「頭の体操カード」「コミュニケーションカード」の3カテゴリー（全40枚）で構成されておりましたが、地域における多様なニーズへ対応するため、第2弾では新たに「デュアルタスク（二重課題）カード」を追加しました。また、枚数を全60枚へと大幅に拡充することで、地域の皆様がより長期的に、かつ多様な場面で活用できるよう改良を加えております。本カードは、今年10月に開催される地域交流イベントにてお披露目する予定です。



会員向けの研修会の様子



「ラシーサカード」第二弾の例